

第1回配本〈明治・大正編〉全7巻〔既刊〕

総4566頁・菊判上製・別冊解題付 全巻セット定価(本体190,000円+税)(分売不可) ISBN978-4-7601-3676-6



■編者略歴
一ノ瀬俊也……1971(昭46)年福岡県生まれ。九州大学文学部史学科卒、同大学大学院比較社会文化研究科博士課程中退。博士(比較社会文化)。現在、埼玉大学教養学部教授。主な著書に、『近代日本の徴兵制と社会』『銃後の社会史』吉川弘文館、『戦場に舞ったピラ』『皇軍兵士の日常生活』講談社、『旅順と南京』文藝春秋、『明治・大正・昭和軍隊マニュアル』光文社、『宣伝謀略ピラ』で読む、日中・太平洋戦争』柏書房などがある。

第1巻

《徴兵逃れのために》

稲葉永考編『徴兵相当免役早見』(目盛堂・1879[明12]年)
金井壽繼・竹内信一編『改正徴兵免否要録 付願届書式』(報告社・1881[明14]年)
『改正註解徴兵令 全 付免否一覧』(開成社・1884[明17]年)
『徴兵令註解 全』(1889[明22]年)

《連隊独自の教育書》

歩兵第六連隊(名古屋)作成『兵卒必携 第一編』(1883[明16]年)
同『兵卒必携 第二編』(1883[明16]年)
歩兵第四連隊(大阪)作成『兵卒口授問答録 第十二編』(1886[明19]年)
歩兵第十六連隊第一大隊(新発田)作成『歩兵卒問答書』(1899[明32]年)

第2巻

《市販の軍隊教科書①》

相澤富蔵編『兵役者心得』(厚生堂・1886[明19]年)
河合源蔵編『改正 兵卒教程 一』(有則軒・1887[明20]年)
山本松太郎編『軍人自戒』(有則軒・1890[明23]年)
上野勘次郎編『改正増補再版 歩兵軍事一斑 卷之一・卷之二合本全』(有則軒支店・1892[明25]年)
井戸田市太郎『歩兵応用 軍隊学教程』(金城堂・1901[明34]年)
松枝新一(海軍大佐)『海軍生活案内 全 付入団者心得』(博文館・1906[明39]年)
清水連城編『四十一年式 歩兵教科書』(明治図書・1908[明41]年)

第3巻

《市販の軍隊教科書②》

厚生堂編集部編『歩兵教程』(厚生堂・1911[明44]年)
竹下精次郎『改正 歩兵須知 全』(武揚堂書店・1923[大12]年)
三澤活水(陸軍歩兵大尉)『入営者準備教育 全』(兵事雑誌社・1913[大2]年)
筒井清芳(陸軍輜重兵特務曹長)『在郷軍人の為に』(帝国在郷軍人教育会・1921[大10]年)

第4巻

《軍隊に関する手紙の書き方・挨拶の仕方①》

相澤富蔵『軍人文鑑 全』(厚生堂・1888[明21]年)
伊東洋二郎『修正増補 軍国祝文五千題』(大成堂・1894[明28]年)
大澤勇『兵卒須知 軍隊文範 全』(中村鍾美堂・1901[明34]年)
脇田休次郎(軍港堂編集部)『軍人文範』(軍港堂・1901[明34]年)

第5巻

《軍隊に関する手紙の書き方・挨拶の仕方②》

莫越庵主人『軍人演説軌範』(三澤書店・1902[明35]年)
河村定静『軍人送迎 祝辞弔祭慰問文範』(大学館・1904[明37]年)
河村定静『軍人送迎歓迎慰勞 凱旋祝辞答辞文範』(大学館・1905[明38]年)
牛尾龍水(歩兵大尉)『軍人の手紙』(大盛堂書店・1918[大7]年)

第6巻

《国民が兵營の様子を知るために》

神州清士『五色染分 陸軍模様』(武揚堂・1899[明32]年)
富田能次編『帝国海陸 軍人画話』(文陽堂・1899[明32]年)
『陸軍事情 兵營画話』(文陽堂・1899[明32]年)
覆面の記者『兵營の告白』(青山堂・1908[明41]年)
覆面の記者『兵營の黒幕』(厚生堂・1909[明42]年)
金子文軒選『軍人文集 全』(帝国軍事協会出版部・1910[明43]年)
太田政之助著画『第二編 ペン画の上等兵』(天橋書房・1921[大10]年)

第7巻

《兵士を訓練する将校のために》

鯨城生『初年兵之教育手段』(兵事雑誌社・1913[大2]年)
築田多吉(海軍看護特務中尉)『部下より見たる部下統御』(私家版・1922[大11]年)
《戦争・軍隊と国民生活の関わりをめぐって》
三毛西陵・肥田竹宇『軍人の顧問』(金桜堂・1904[明37]年)
生田日光(陸軍歩兵大尉)『陸軍出征軍人留守宅必携』(厚生堂・1904[明37]年)
古賀圓蔵『最新 陸海軍人志願者手引』(三友堂書店・1913[大2]年)
帝国軍人教育会『陸海退役 軍人職業指導書 全』(同会・1911[明44]年)

近代日本軍隊教育・生活 マニュアル資料集成

第2回配本〈昭和編〉全7巻

〈全2回配本〉

柏書房

発行

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337
URL <http://www.kashiwashobo.co.jp>
E-mail eigy@kashiwashobo.co.jp

取扱店

一ノ瀬俊也(埼玉大学教授) 編集・解題
総4726頁・菊判上製・別冊解題付
全巻セット定価(本体190,000円+税)*分売不可
ISBN978-4-7601-3753-4

お薦めします
歴史学、教育学、社会学、
政治学、経営学、経済学
などの研究者・研究機関
大学・公共図書館

1931年の満州事変勃発時には27万8000人だった
 帝国陸海軍の総兵力は、終戦時には716万5000人に達した……。
 戦争の長期化は、老若男女を問わずに国民と戦争・軍隊を密接に結びつけていき、
 それを媒介した「マニユアル」は、戦争・軍隊の存在を
 逆らい得ない正義とする効果を発揮する役割を負った！

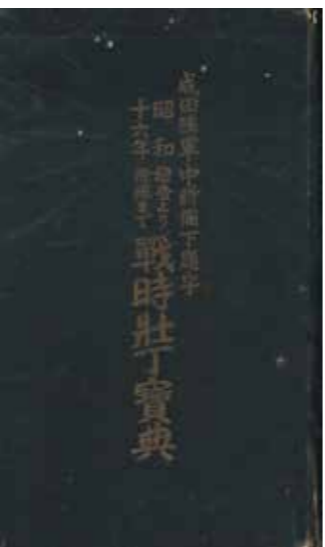
★第1巻

《徴兵検査と兵営生活のために①》
 織田小三郎編『軍隊生活早わかり』(織田書店・1927[昭2]年)
 青木袈裟美編『徴兵検査研究録』(陸軍医団・1928[昭3]年)
 渡邊寛(陸軍歩兵大佐)・田淵義雄(前兵事官)
 『徴兵適齢者軍人志願者兵事便覧』(松華堂・1931[昭6]年)
 松浦徳一(福山聯隊区司令部内)『学生下兵役』(1933[昭8]年)／収録版1935年8版
 札幌聯隊区徴兵官『昭和十二年徴兵検査心得』(1937[昭12]年)
 藤谷芳長『最新歩兵須知 全』(兵書出版社・藤谷崇文館・1937[昭12]年)／収録版1939年改訂増補55版



★第2巻

《徴兵検査と兵営生活のために②》
 佐々木一雄(陸軍大佐)
 『戦時入営軍隊素養試験必携 模範解答附』
 (陸軍社・教育会・1939[昭14]年)／収録版1940年改訂版
 (陸軍社・教育会・1941[昭16]年)／収録版同年2版
 森本富蔵編『昭和十六年検査より除隊まで 戦時社丁宝典』
 (陸軍社・教育会・1941[昭16]年)
 齊藤市平(陸軍少佐)『軍人勸諭早わかり』(尚兵館・1942[昭17]年)／収録版同年25版



★第3巻
 《軍隊教育を担う将校・下士官のために》

山崎慶一郎(陸軍大尉)編著
 『内務教育の参考』(琢磨社・1933[昭8]年)／収録版1941年147版
 鷹林宇一(陸軍歩兵大尉)編『軍隊内務教育の参考』(川流堂・1936[昭11]年)
 武揚社出版部編『内務班長実務の参考』(同部・1935[昭10]年)／収録版1940年増補11版
 齊藤市平(陸軍少佐)編『軍隊精神教育の参考』(尚兵館・1940[昭15]年)



★第4巻

《陸海軍志願兵・少年兵のために①》
 飛行家志願者後援会『海軍陸軍少年航空兵志願宝典』(同会・1935[昭10]年)
 帝國文武学会編
 『合格準備海軍各志願兵試験問題集と模範解答(附志願案内)』
 (同会・1938[昭13]年)／収録版1939年訂正3版
 山口禎貴(海軍機関少佐)
 『海軍各志願兵徴募兵入団須知と訓練講義』
 (帝國文武学会・1938[昭13]年)／収録版1941年訂正11版
 鈴木英夫(陸軍中尉)『陸海軍少年兵志願者読本』(希望の窓社・1943[昭18]年)



★第5巻

《陸海軍志願兵・少年兵のために②》
 旺文社編『陸軍への道』(同社・1944[昭19]年)
 旺文社編『海軍への道』(同社・1944[昭19]年)／収録版同年2版
 海軍協会『指導者用海軍志願兵参考書』(同会・海軍省人事局監修、1944[昭和19]年)



★第6巻

《前線への慰問文・式辞挨拶のために①》
 北村重治編『海軍軍人書簡文 海の便り』(武揚社書店・1935[昭10]年)／収録版1942年6版
 宮下丑太郎編
 『戦時下に於る式辞挨拶手紙模範集(雄弁新年特大号附録)』
 (大日本雄弁会講談社・1939[昭14]年)
 樋口紅陽『軍人と銃後の祝辞演説と挨拶の仕方』(岡村書店・1939[昭14]年)
 勸学園同人編『昭和模範慰問文』(文貴堂・1940[昭15]年)／収録版同年10版



★第7巻

《前線への慰問文・式辞挨拶のために②》
 木村長峽『兵隊さんに送る女子慰問文』(元文社・1941[昭16]年)
 留守信綱編『最新大東軍戦慰問文』(天泉社・1942[昭17]年)
 留守信綱編『最新戦時女子慰問文』(天泉社・1942[昭17]年)／収録版同年2版増補
 《留守家族・前線将兵のために》
 松本治一郎『応召出征兵士家族救済活動案内』(発行人北原素作・1937[昭12]年) 厚生省
 『軍事援護早わかり 勇士の出征から帰還まで』(国民精神総動員中央連盟・1938[昭13]年)
 長野県『婦人相談員必携』(同県・1944[昭和19]年) 〃
 大本営陸軍部『従軍兵士ノ心得第一号』(同部・1938[昭13]年)
 大本営陸軍部『従軍兵士ノ心得第二号(軍紀風紀二就)』(同部・1938[昭13]年)
 大本営陸軍部『従軍兵士ノ心得第三号(陣中勤務)』(同部・1939[昭14]年)
 陸軍省『改訂戦歿将兵の遺族の為に』(同省・1939[昭14]年)
 陸軍省情報部『改訂版輝く帰還兵のために』(同部・1939[昭14]年)
 臨時東京第三陸軍病院『退院時指示要項』(同病院・1941[昭16]年)
 大本営陸軍部『これだけ読めば戦は勝てる』(同部・1941[昭16]年)
 海軍省『復員将兵心得』(同省・1945[昭20]年)
 第一復員省『外地復員軍人ノ一参考』(同省・1946[昭21]年)
 引揚援護庁・復員局留守業務部『死亡認定の参考』(同庁同部・1952[昭27]年)

